

各 位

公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会

理事・事務局長 宮本 彰夫

2017年度『広島地区VE塾』

開 講 の ご 案 内

環境問題が深刻化する中、持続可能な社会の実現に向けて、企業・団体の果たすべき責務が大きくなるとともに、国民一人一人の意識、行動の変革も課題となっています。顧客が求める機能を最低のライフサイクル・コストで確実に達成することによって資源の有効活用を図るVE (ValueEngineering) の普及と活用、そのための人材育成も一層求められてきています。

『広島地区VE塾』は、このVEの実践を担える人材を育成するために設置された“VEワークショップ・セミナー”です。受講者が実際に職場で抱えている問題や課題をテーマに十分な時間をとって行うグループ演習はこの塾の大きな特長であり、受講者の方々から毎年好評をいただいています。

この塾では、業務中になかなか経験できない異業種交流も可能です。また修了された方は、VEL認定試験の受験要件を満たすことができます。



演習の様子

- ◆ **対 象** : まず始めにVEの概要を知りたい方、VEの導入・実践をお考えの方、VELの取得を目指されている方をはじめ、**どなたでも受講いただけます。業種・職種や年齢・性別、1社あたり的人数等に制限はありません。**
- ◆ **期 間** : 2017年11月9日(木) ~ 2018年3月9日(金) [全13会合]
- ◆ **会 場** : マツダ(株)VEセンター[広島県安芸郡府中町、山陽本線向洋駅から徒歩10分]
- ◆ **定 員** : 18名
- ◆ **受講料** : 32,500円 ※ただし、本会会員は25,000円。本会会員の紹介の場合は、27,500円
消費税込 テキスト代(2,160円)は、会員・一般とも別。
- ◆ **講 師** : 【塾 長】奥田英二郎氏 [マツダ(株)原価企画本部 VEセンター, VEL]
【アドバイザー】若林 真一氏 [(株)フジタ 広島支店 理事, VES]
【アドバイザー】小関 要司氏 [北九州VE塾 塾長, CVS]
- ◆ **申込み** : 10月20日(金)までに別紙の申込書を下記の申込先へFAXで送信願います。

【お問い合わせ先 / お申し込み先】

公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会 事務局
TEL. 03-5430-4488 / FAX. 03-5430-4431
URL : <http://www.sjve.org> / E-mail : info@sjve.org

➤ スケジュール

回	日程	内容
1	11/9(木)	オリエンテーション … VE 塾概要の紹介、受講者の自己紹介 VE の基本 … VE 概論、VE 実施手順（機能定義）
2	11/10(金)	VE の基本 … VE 実施手順（機能評価、代替案作成） VE 実践テーマの選定 … 受講者が職場で実際に抱えている課題から互選
3	11/17(金)	VE の実践〔ステップ1〕 VE 対象の情報収集
4	11/24(金)	〔ステップ2〕 機能の定義
5	12/1(金)	〔ステップ3〕 機能の整理
6	12/8(金)	〔ステップ4〕 機能別コスト分析 〔ステップ5〕 機能の評価 〔ステップ6〕 対象分野の選定
7	12/15(金)	〔ステップ7〕 アイデア発想 〔ステップ8〕 アイデアの概略評価
8	12/22(金)	〔ステップ9〕 アイデアの具体化 〔ステップ10〕 代替案の詳細評価
9	1/12(金)	提案（代替案の発表準備と発表）、修了証授与式
10	1/26(金)	成果発表会準備①
11	2/9(金)	成果発表会準備②
12	2/23(金)	VE 塾内成果発表会
13	3/9(金)	成果発表会用資料の仕上げ

※1. 時間は全て 10:00~17:00。

※2. 日程は変更させていただくことがあります。

※3. 成果発表会は3月20日（火）にマツダ(株)殿での開催を予定しております。

➤ 開講にあたって

VE 塾は西日本地区における VE の普及と発展を目的として 2002 年に開講し、以降、九州地区と広島地区で合計 360 名の卒業生を輩出してきました。卒業された皆さんはそれぞれの職場に戻られ、VE 活動や原価低減活動などで活躍されています。「VE は原価低減の手法」という一面だけを捉えられる場合がありますが、VE の真の狙いは「新しい価値の創造」にあります。これを実現するために、VE は顧客の要求、願望を

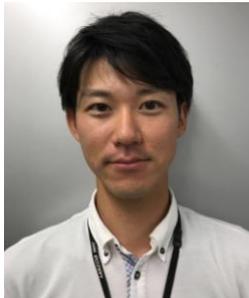


「目的、機能」で捉え、機能とコストの両面から「最適な達成手段」を創造していく手順を踏みます。

VE 塾では塾生自身が企業内で抱える実際の課題をテーマに取り上げて、ワークショップ・セミナー形式で VE 活動を実施します。終わる頃には VE の考え方や実施手順をしっかりと身につけ、VE を実践活用できるレベルに到達することができるでしょう。長時間に渡るスキル UP 講座となりますが、私及び指導協力いただく VE 有識者と、受講される皆さんとが二人三脚となって VE の基本をしっかりと学べる場にしていきます。

VE は初めてという方も大歓迎です。「広島発で日本のモノ造りに貢献しよう」という志を持った方々のご参加を心よりお待ちしております。

➤ 2016 年度受講者の声



マツダ株式会社
毎熊 泰樹 様

私がこれまでに携わってきた業務ではV E活動に取り組む機会がなく、S/W開発における価値を向上するための知識/技術が習得できるチャンスだと思い、今回の「広島地区V E塾」に参加させていただきました。講習を受ける前は「価値向上＝材料費や部品点数の削減」と思い込んでいましたが、システムの持つ機能がコストよりも上回ることも価値向上であると知り、コストを下げるのが価値向上だと一概には言えないことを学びました。

私たちの班では、建機のエンジン冷却システムを対象テーマにし「定期メンテナンスの簡易化」、「冷却性/静粛性の向上」を実現する代替案を作成、提案しました。実践を通して「機能を定義するむずかしさ」がある一方、異業種同士のメンバーでかつ専門分野が異なっているからこそ「チーム一丸となって機能を洗い出し、アイデアを出し合い、代替案を具体化して価値向上の目標達成する瞬間」を実感しました。最後になりましたがご指導いただきました塾長をはじめ関係者方々、ならびに共に活動した皆様に感謝いたし、厚く御礼を申し上げます。



マツダ株式会社
阿部 真史 様

入門書でV Eの概要は理解しても業務での実践経験がなかった私にとって、V Eは「難しそう・実践など自分には到底無理」といった負の印象がありました。一方で、このコンプレックス紛いの考えや姿勢を払拭したいと切望していたため、このたび思い切ってV E塾を受講した結果、演習を通じ次の3点を体感することで負の感情が一掃され、今は周囲を巻き込み実践で活用したいとさえ考えています。①価値を踏まえた機能本位の発想の重要性、②チームデザインにより可能性は無限大、③機能的な研究法の活用で誰でも一定の成果を出せる。これらは、モノづくりに加えコトづくりも重要となる今後の世界規模でのビジネスにおいて、必須かつ有力な考え方と手段であると感じます。以前の私のようにV Eを敬遠している方にこそ、V E塾への参加を強くお勧めします。最後に、ご指導頂いた塾長・講師の方々、十数回の塾および発表会の企画・運営に尽力頂いた多くの関係諸氏に深く感謝いたします。



株式会社マツダ E&T
田淵 修 様

私はV E塾に参加するまで、V Eとはコストや重量低減を目的としているものだと考えていましたが、実際にV E塾を受講してみるとV Eとは価値の向上であり、コストが下がらなくても機能を向上させることで価値の向上につながることを教わることができ、考え方を変えることができました。私の持参したテーマで活動を進めていきましたが、異業種の方とのチームであったため、説明が難しい面もありましたが、私の持っていない知識や新しい視点でのアイデアなどが多数提案され、様々な意見を収集するというのを正に実感できた場となり、非常に有意義な時間を過ごせました。講義自体もポイントを押さえ説明を受け、質問に対しても柔軟に受け答えいただき、大変分かり易く進めていただけました。最後にご指導いただきました講師の方々、真剣な中でも楽しく時間を過ごせ、多大なるフォローをいただいたチームメンバーの皆様に感謝いたします、ありがとうございました。

2017年度『広島地区VE塾』 受講申込書

2017年____月____日

1. 申込者 (受講者と同じ場合は記入不要)

所在地	〒		
会社名			
所属・役職名			
氏名		T E L	

2. 受講者

フリガナ			
氏名			
会社名			
所属・役職名			
所在地	〒		
T E L		F A X	
E-mail			

3. 受講料【どちらかの□に✓】

32,500円	【会員】25,000円	【会員の紹介】27,500円
◎折り返し、申込者の方に請求書をお届けいたします。請求書の到着後、 11月9日(木)まで に銀行振込みでお支払いください。		

※ご記入の個人情報は、請求書等のお届けや必要な場合の事前連絡、受講者名簿（講師と受講者に配布）の作成、当支部が主催する大会・セミナー等のご案内などに使用させていただきます。

※大会・セミナー等のご案内が不要な方は、右の□に×をお願いします。☞